

天使

PER CARITATEM
AD VERITATEM

vol.41 2026

T E N S H I C O L L E G E

新入生より学びの意気込み（将来の夢や目標）



看護学科1年
工藤 柑奈

私は将来、グリーフケアに携わり、大切な人を亡くした悲しみや不安を抱える方に寄り添える看護師になりたいと考えています。病気やけがだけでなく、心の苦しみにも寄り添える看護を実践するためには、専門的な知識や技術に加え、相手の思いを受け止める姿勢やコミュニケーション能力が欠かせないと思います。大学では、講義や演習、実習を通して基礎をしっかりと身につけるとともに、生と死のゼミなどで多様な価値観に触れ、人としても成長したいです。学び続ける姿勢を大切にし、一つひとつの経験を将来につなげながら、悲しみの中にいる方やそのご家族が少しでも安心して前を向けるよう支えられる看護師を目指して努力していきます。仲間と支え合いながら学びを深め、将来につながる充実した四年間にしたいです。日々の学びや経験を大切にし、夢の実現に向けて努力を重ねていきたいです。



栄養学科1年
塩坂 知優

私が天使大学に入学した当初は、栄養教諭の資格を取得できればよいという漠然とした思いを持っていました。しかし、入学後に栄養教諭養成課程の説明を受けたことで、その思いは「栄養教諭になりたい」という明確な目標へと変わりました。現在は教職課程を履修しており、履修単位数が多いため、放課後は図書館で勉強し、自宅でも学習に取り組むなど、限られた時間を有効に活用しよう心がけています。日々の授業を通して、世の中にはさまざまな価値観や考え方を持つ人がいることを学びました。将来、一人ひとりに適切な栄養指導を行うためには、専門知識だけでなく、多様な価値観を理解し、相手に寄り添う姿勢が必要だと考えています。これからもさまざまなことに挑戦し、多くの経験を積みながら、知識と人間性を高め、一人ひとりに寄り添える栄養教諭を目指したいです。



看護学専攻保健師コース1年
遠藤 星奈

私は、支援を必要としている人に適切な支援を届けたいと考え保健師を目指しました。将来は、誰もが気軽に相談できる身近な保健師になりたいと考えています。私は学部からそのまま大学院保健師コースに進学しましたが、授業は学部時代とは異なり、プレゼンテーションやディスカッションが中心となっています。また、本コースでは保健師国家試験の受験に必要な単位に加え、修士課程修了のための単位も履修する必要があり、多くの課題や演習に取り組む毎日を送っています。忙しさを感じることもありますが、自分の考えを分かりやすく伝える力や、多様な意見を踏まえて議論する力を養うことができおり、充実した学びにつながっています。保健師には専門知識だけでなく、人と関わり協働する力も求められるため、大学院での経験を大切にしながら成長していきたいです。



助産研究科1年
山岡 芽衣

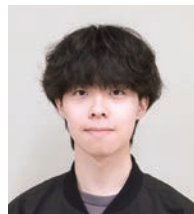
全国で唯一の専門職大学院である本学は、専門性の高いカリキュラムと病院・助産院での実習を通して、理論と実践を往環しながら助産を深く学ぶことができる教育環境が整っています。私は、その学修環境に魅力を感じ、入学を決意しました。

現在は、全国から集まった21名の志を共にする仲間とともに、妊娠期から産褥・新生児期に至るまで幅広い知識と技術を学び、グループワークや放課後の技術練習を通して互いに刺激を受けながら学びを深めています。今後も学び続ける姿勢を忘れず自己研鑽を重ね、時代の変化や多様な価値観を尊重し、一人ひとりの女性や母子、その家族に寄り添うことができる助産師を目指します。そして将来は、幼児期からの性教育や家庭内教育への支援、企業への働きかけを通して、誰もが安心して子どもを産み育てられる社会の実現に貢献したいと考えています。

行事報告



先輩・後輩・同級生とわっしょい。

栄養学科2年
谷 陽樹

「わっしょい天使魂」をテーマに開催した今年の学校祭は、多くの方々の協力のおかげで大成功を収めることができました。実行委員長として準備から当日まで携わり、多くの学びと成長を得ることができました。

準備期間で最も苦労したことは、人を頼ることでした。私は「自分がやらなければ」という気持ちが強く、仕事を一人で抱え込んでしまうことが多くありました。そのため、スケジュール管理や各部署との連絡、出展団体との調整などに追われ、思うように物事が進まない場面も少なくありませんでした。しかし、そのような時に後輩が「手伝います」「何かできることはありますか」「真顔よりいいじゃないですか」と積極的に声を掛けてくれました。その言葉や行動に何度も助けられ、最後まで委員長として頑張ることができました。また、出展に関する準備では先輩方が経験を生かして丁寧にサポートしてくださり、不安だった場面でも安心して進めることができました。一人では乗り越えられなかったことも、仲間や先輩方の支えがあったからこそ乗り越えることができ、人を信頼して頼ることの大切さを強く実感しました。

当日は、模擬店やステージ企画など、多くの来場者で会場が大いに盛り上がりました。特に抽選会では、Instagramを活用した広報を行ったことで多くの方に興味を持っていただき、コロナ禍以降では最大となる来場者数を記録することができました。企

画を考えるだけでなく、「どのように情報を発信すれば多くの人に届くのか」を考えながら取り組んだことが結果につながり、大きな達成感を感じました。

学校祭を終えた今、一番感じていることは、多くの人に支えられて実行委員長を務めることができたという感謝の気持ちです。委員長という立場だからこそ、一人で抱え込むのではなく、仲間を信頼し、それぞれの力を合わせることが成功につながることを学びました。

また、実行委員長として活動する中で、自分自身も大きく成長できたと感じています。特に、企業や関係者の方々とのかやり取りを重ねたことで、メールの返信や文章作成の力が身につきました。相手に分かりやすく、丁寧に伝えることを意識するようになり、社会に出てからも役立つ貴重な経験になったと思います。

今回の学校祭は、私一人では決して実現できませんでした。実行委員のみなをはじめ、いつも支えてくれた後輩、出展準備で力を貸してくださった先輩方、先生方、企業の皆様、そしてご来場いただいた皆様など、本当に多くの方々の支えがあったからこそ成功につながりました。「わっしょい天使魂」というテーマのとおり、一人ひとりの力と想いが一つになった学校祭だったと感じています。この経験を通して学んだ「人を頼ること」「仲間を信じること」をこれからも大切に、今後の学生生活や将来に生かしていきたいと思っています。

2025年度 天使大学・大学院
卒業証書・学位記授与式が
挙行されました。

2026年3月、天使大学にて「2025年度 卒業証書・学位記授与式」が挙行されました。まだ寒さの残る季節ですが、会場はこれから新しい一歩を踏み出す卒業生・修了生たちの熱気と、華やかな笑顔に包まれていました。今年度も多くの若者が、住み慣れた学び舎を巣立ち、それぞれの新しい未来へと歩みを進めました。

式典は厳粛な雰囲気の中で開会され、修了生たちはアカデミックガウンと角帽に身を包み、堂々とした姿で臨みました。式が始まると、会場には一人ひとりの氏名が読み上げられ、これまでの楽しかったこと、大変だったこと、仲間と切磋琢磨した日々の努力と想いが去来する中、全員の呼名に続いて、各研究科・学科の代表者が二宮学長からしっかりと学位記を受け取りました。その凛とした姿からは、天使大学での学びを修めた誇りと、未来への強い決意が感じられました。

天使大学で培った深い専門知識と、他者を思いやる温かい心は、これから歩むそれぞれの道できっと大きな支えになるはずです。

当日は、保護者の方々、教職員をはじめ、これまで彼らを支えてきたたくさんの方から温かい祝福を受け、会場全体が笑顔と感動に包まれた素晴らしい門出の1日となりました。

卒業生・修了生のみなさんは、天使大学の建学の精神である「愛をとおして真理へ」を実践するため、ここから全国の様々なフィールドへと力強く羽ばたきます。

2026年度
天使大学・大学院入学式が
執り行われました。

2026年4月、うららかな春の光が降り注ぐ中、天使大学・天使大学院入学式が執り行われました。今年度は、学部・大学院を合わせて223名の新入生が晴れて天使大学・大学院への仲間入りを果たしました。大きな期待と少しの緊張を胸に抱いた新入生たちが、キャンパスに集い、新たな一歩を踏み出しました。

式典は、新しいスタートにふさわしい心地よい緊張感と、大学全体の温かい歓迎ムードに包まれて始まりました。新入生呼名では、これからの学び舎での第一歩として、一人ひとりが未来への希望を込めて力強く返事をしました。続く二宮学長からの式辞では、新入生たちを迎える祝福のメッセージとともに、専門的な学びに向き合うための激励のエールが送られ、学生たちは背筋を伸ばして真剣な眼差しで聞き入っていました。

当日は、教職員だけでなく多くの保護者の皆様が

見守る中、たくさんの祝福の拍手が送られた素晴らしい1日となりました。閉式後のキャンパスでは、新しく出会った友人たちと満面の笑みで記念撮影をする姿があちこちで見られ、これからの充実した学生生活を予感させる輝きに満ちていました。

これから始まる日々の中で、223名の切磋琢磨する仲間とともに、建学の精神である「愛をとおして真理へ」を深く体現し、豊かな人間性を育んでいけることを願っております。



天使大学・大学院 NEWS

オープンキャンパス

オープンキャンパスを開催しました！

2026年6月20日(土)、オープンキャンパスを開催し、多くの高校生や保護者の皆様にご来場いただきました。

当日は、各学科の「模擬講義」や「学科説明会」を実施し、参加者の皆さんが熱心に耳を傾けていました。また、サポートプログラムでは「学生交流コーナー」や「天使みらい入試プレゼンテーション資料展示コーナー」も展開。先輩たちの生の声や実際に使用された選抜資料に触れ、本学の温かい雰囲気と学びを肌で感じていただける機会となりました。



看護栄養学部 看護学科

看護学科3年生が「小児看護学Ⅱ」の学内演習を実施しました！

看護学科3年生の「小児看護学Ⅱ」において、より実践的な看護技術を身に付けるための学内演習が行われました。演習では、小児用のモデル人形を用いて、子どもの特性に合わせた「バイタルサイン測定」などの技術を実践。学生たちは、成人の看護とは異なる小児ならではの細やかな配慮や観察のポイントを、お互いに確認し合いながら熱心に学んでいました。

臨地実習を控えた3年生にとって、現場さながらの環境で技術を磨く、大変有意義な時間となりました。



看護栄養学部 栄養学科

乳製品の知識を深める機会となりました！

栄養学科1年生の「調理学実習」の一環として、ミルクセミナーを行いました。サッポロさんとらんど内にある「ミルクの郷」にて、乳製品製造工場を見学したほか、「バター作り」にも挑戦しました。また、実際の酪農家へ訪問し、牛とのふれあいや哺乳・搾乳体験・牛舎見学など貴重な体験もできました。食材が生まれる背景や生産者の想いに直接触れたことは、栄養の学びに繋がる大変有意義な経験となりました。



助産研究科

大学院助産研究科の学生が「両親学級」を開催しました

大学院助産研究科の学生13名が、授業の一環として「両親学級」を企画・運営し、7月11日(土)に実施しました。



当日は、3組の妊婦さんとそのパートナーを対象に、産後の生活に関する講義と、模擬赤ちゃんを用いた沐浴体験を行いました。参加者からは、「実際にやってみたことで、自宅で行うイメージが湧いた」「リラックスして話を聞くことができた」といった感想が寄せられました。

学生にとっても、妊婦さんやご家族との関わりを通して、対象者に寄り添った支援や分かりやすく伝えることの大切さを学ぶ貴重な機会となりました。「準備は大変だったが、自分の課題に気付くことができた」「参加者からの感想が自信につながった」といった声も聞かれ、助産師に必要な知識・技術とコミュニケーション力を実践的に学ぶ、充実した両親学級となりました。

2026年度 天使大学・北海道科学大学連携公開講座について



「いのちみつめて」をテーマに、医療、薬学、看護学、栄養学の各分野から、生活に役立つ情報をわかりやすく解説します。昨年度に引き続き YouTube によるオンデマンド配信で実施します（事前の受講申込が必要です）。



○期間（予定）：2026年10月～12月

○申込方法：天使大学ホームページより申し込みを行ってください。
※申込ページは9月中旬頃 掲載予定

○講座内容

テーマ名	講師
人生 100 年時代をウエルビーイングに生きる	天使大学 看護栄養学部看護学科 吉田礼維子 教授
「おいしくたべる」を続けるために～物価高、気候変動が大きいなかでわたしたちにできることは～	天使大学 看護栄養学部栄養学科 志賀 一希 准教授
周産期のメンタルヘルス	天使大学 大学院助産研究科 森川 由紀 准教授
体内時計が健康を決める？ ～知っておきたい病気との深い関係～	北海道科学大学 薬学部 薬学科 高栗 郷 准教授
見逃さないで！肝臓からの静かな SOS	北海道科学大学 保健医療学部 臨床工学科 印藤 智一 教授

※テーマ名は一部変更になる場合があります。

新任教員紹介

看護学科講師 安積 陽子

私は助産師として周産母子センターに勤務し、命の誕生や死別に立ち会う仕事の責任と尊さを実感してきました。

そこで、病棟のリーダーや臨床指導者を務める中、対象者への理解を深めたり、より良いケアとは何かを考えるようになったのが研究のきっかけです。

再び大学で心理学や研究法を学び、米国への交換留学を経て、母性看護や助産の実践にしかない唯一無二のケアの価値を再確認しました。

その後は、大学・大学院で母性看護学と助産学での教育を兼任し、早産児とその家族を主たるテーマに研究に取り組んできました。

時折、恩師や同僚、臨床や研究で出会った女性や赤ちゃん、留学時代に支えてくださった方々に感謝しても仕切れないと思うことがあります。

それを還元しなければいけないと思い、天使大学で母性看護を伝えること、研究を続けることを大切にしたいと考えています。

看護学科講師 中村 真弥



4月より看護学科に着任いたしました。私は総合病院やクリニックでの助産師勤務を経て、地域での新生児訪問や大学・大学院での看護師・助産師養成に携わってきました。学部時代から博士後期課程、教員としての勤務まで北海道大学を中心に学びと研究を続け、このたび新たなご縁をいただき天使大学に着任いたしました。

研究テーマは、授乳期のお母さんが安心して母乳育児

を継続できる支援です。現在はAIによる乳頭損傷評価システムの開発や、海外研究者との国際共同研究に取り組んでいます。世界の研究者とつながる経験は大きな刺激であり、日本での研究や実践を世界へ発信しながら、多様な視点から学び合えることに魅力を感じています。

私自身も4人の子どもの母として、子育てと研究・教育を両立しながら歩んできました。学生のみなさんにも、自分らしい道を築いていけるよう応援していきたいと思っています。

栄養学科准教授 隈元 晴子



私は今年の3月まで藤女子大学にて15年間研究教育に携わり、4月から天使大学に着任いたしました。10年以上にわたり卒業演習・研究として「困難を抱える子どもたちの居場所づくり」に学生たちとともに取り組み、子どもの食に関わる経験について、家庭に代わって地域ではどのように担えるのかを研究・実践してまいりました。もともとは大学院時代に動物モデルを用いて行った「幼若期

のストレス経験に起因してみられる成長後の不適切な行動パターン」への薬理学的効果の研究からの着想ですが、社会実装の難しさを痛感する日々です。

成長途中にある大学生の教育や支援のあり方もまた、多様で奥が深く、私自身学ぶことが多いと感じております。これから教職員の皆さまと協力しながら、人々に寄り添える栄養士・管理栄養士養成に貢献してまいりたいと思います。

栄養学科講師 石田 しづえ



私は、天使女子短期大学食物栄養学科を修了後、約20年間、保育所の管理栄養士として勤務してきました。この経験を通じて、保育所の管理栄養士は子どもたちの「食の基礎」を育む、非常にやりがいのある仕事だと実感しております。

一方で、食物アレルギーの増加などに伴い、保育施設の給食対応は複雑化し、課題も増えているのが現状

です。「自身の経験を生かした研究を行いたい」と考え、約10年前に保育所を退職し、天使大学大学院にて「保育施設の給食対応」をテーマに研究に励んでまいりました。

これまでの研究は課題提起にとどまっておりますが、今後はその解決に向けて、そして保育所の栄養士が専門性を生かして働ける環境づくりに向けて、引き続きこのテーマで研究を深めていきたいと考えております。

サークル活動紹介

ミルクラ

代表

栄養学科2年
嶋木 奏



ミルクラ（牛乳・乳製品サークル）は雪印メグミルクさんと雪印パーラーさんと共同で食課題解決レシピやコラボパフェの開発などを行い、牛乳・乳製品の魅力を伝える活動をしています。

今年は新たな活動として十勝の池田町にあるハッピーネスデーリィさんとのコラボパフェを期間限定で発売しました。ただおいしいパフェではなく、現代の人に足りていないカルシウムやビタミンなどを多く摂れるようにおいしさと栄養面を意識してパフェを考えました。実際に池田町に足を運び、調理から提供まで行いました。試行錯誤を重ねたパフェが実際に形になりお客さんに食べていただけるという貴重な経験をすることができました。

今後はたくさんの人に牛乳・乳製品の魅力を伝えるだけでなく、ミルクラのメンバーも牛乳・乳製品の理解を深めて、新たな活動にたくさん挑戦していきたいです。



29♡LABO

代表

栄養学科3年
森川 芽泉



29♡LABOは2025年3月に新しくできた、お肉好きが集まったサークルです。北海道のお肉を広めることを目的に、天使祭の出店、食育やメニュー開発、イベント出店などの活動を行っております。今年度の天使祭では、東日本フード（日本ハムグループ様）と十勝清水フードサービス様と共同で、「十勝若牛」というお肉を使用してメニュー開発をし、ステーキ丼とブルコギ丼を販売いたしました。

十勝若牛を初めて試食したとき、これをステーキ丼で提供したい、という思いで、オンラインや学内で何度も試作を重ね、時間がたっても美味しく食べられるようなメニューを目指し、試行錯誤しました。その結果天使祭では、目標の食数完売することができました。

そしておいしいなど、たくさんの温かい言葉をかけていただき、とてもうれしい気持ちになりました。



しかし、部員が増えた中でまとめることが難しくなることや、企業の方との連絡やスケジュールの調整など反省点も多くありました。

まだ私たちは、サークルを立ち上げて1年少しです。これから、もっと広い視野を持ち、お肉を通して皆さんの活動を行い、学びを得られるよう活動していきたいと思います。

今後の29♡LABOの活動も温かい目で見守ってくださると嬉しいです。

2025年度 進路・就職状況

学科・研究科	看護学科	栄養学科	大学院助産研究科	大学院看護学専攻	大学院栄養管理学専攻
就職決定者	80	86	18	12	3
進学決定者	15	2	0	0	0
進路希望無し	3	2	0	0	1
卒業者	98	90	18	12	3

【看護学科】就職・進学先

●就職先

国立病院

- ・独立行政法人地域医療機能推進機構(JCHO)北海道病院
- ・独立行政法人地域医療機能推進機構(JCHO)札幌北辰病院
- ・独立行政法人国立病院機構 北海道医療センター
- ・独立行政法人国立病院機構 北海道がんセンター

大学病院(国公立)

- ・北海道大学病院
- ・札幌医科大学附属病院

大学病院(私立)

- ・東海大学医学部付属病院
- ・杏林大学医学部付属病院

クリニック

- ・医療法人湘美会

訪問看護ステーション

- ・株式会社ナースエナジー

公立・公的・社会保険関係法人の病院

- ・独立行政法人東京都立病院機構 駒込病院
- ・市立室蘭総合病院
- ・札幌市立札幌病院
- ・国家公務員共済組合連合会 KKR札幌医療センター
- ・JA北海道厚生連 札幌厚生病院
- ・留萌市立病院
- ・JA北海道厚生連 帯広厚生病院
- ・国家公務員共済組合連合会 斗南病院
- ・東京都立東部療育センター
- ・横浜市立脳卒中・神経脊髄センター

介護サービス施設

- ・合同会社わむす グループホームpumehana

一般企業

- ・株式会社ZIPAIR Tokyo(航空会社)

一般病院

- ・JR札幌病院
- ・社会医療法人財団石心会 川崎幸病院
- ・社会医療法人河北医療財団 河北総合病院
- ・社会医療法人社団愛心館 愛心メモリアル病院
- ・IMSグループ医療法人財団明理会 新越谷病院
- ・医療法人深仁会 手稲深仁会病院
- ・社会福祉法人函館厚生院 函館五稜郭病院
- ・医療法人 東札幌病院
- ・医療法人徳洲会 湘南藤沢徳洲会病院
- ・社会医療法人楨心会 札幌楨心会病院
- ・医療法人深仁会 札幌西円山病院
- ・社会医療法人製鉄記念室蘭病院
- ・医療法人セレス さっぽろ神経内科
- ・社会医療法人孝仁会 札幌孝仁会記念病院
- ・医療法人徳洲会 札幌東徳洲会病院
- ・医療法人柳育会 柳病院
- ・特定医療法人社団 藤木やわたメディカルセンター
- ・国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター
- ・医療法人財団健真会 総合東京病院
- ・公益財団法人がん研究会 有明病院
- ・社会医療法人鳩仁会 札幌中央病院

●進学先

看護系大学院

- ・天使大学大学院 助産研究科
- ・天使大学大学院 看護栄養学研究科 看護学専攻 保健師コース
- ・札幌医科大学大学院医学研究科(修士課程) 臨床遺伝学

看護系その他

- ・札幌医科大学専攻科 公衆衛生看護学専攻
- ・札幌医科大学専攻科 助産学専攻科
- ・札幌市立大学 看護学専攻科 公衆衛生看護学専攻

【栄養学科】就職先・進学先

●就職先

自治体

- ・人事院・厚生労働省(食品衛生監視員、国家公務員)
- ・北海道
- ・釧路市(管理栄養士)
- ・浦幌町
- ・北竜町
- ・札幌市

教育機関

- ・北海道教育委員会(栄養教諭)

保育所

- ・株式会社モード・プランニング・ジャパン 札幌支店の沢雲母保育園
- ・社会福祉法人夢工房 幼保連携型認定こども園さっぽろ夢
- ・社会福祉法人光星子どもの家福祉会 光星はとポッポ保育園
- ・社会福祉法人法和福祉会 厚別西認定こども園
- ・春日町保育園
- ・株式会社ニチイ学館 ニチイキッズしろいし保育園
- ・スター保育園

病院

- ・医療法人財団明理会 明理会東京大和病院
- ・社会福祉法人北海道社会事業協会 富良野病院
- ・社会医療法人北斗 北斗病院
- ・医療法人愛全会
- ・社会医療法人匠仁会 中村記念病院
- ・北海道厚生農業協同組合連合会(JA厚生連)
- ・医療法人澤山会 手稲病院
- ・日本赤十字社 旭川赤十字病院
- ・武蔵野赤十字病院
- ・独立行政法人国立病院機構 弘前総合医療センター
- ・医療法人社団Beautiful Smile ひらの歯科クリニック
- ・社会医療法人社団カレスサッポロ カレス記念病院
- ・独立行政法人国立病院機構本部 関東信越グループ 国立産業所多摩全生園
- ・日高徳洲会病院
- ・医療法人社団福仁会 旭川脳神経外科循環器内科病院

福祉施設

- ・社会福祉法人若竹大寿会
- ・社会福祉法人緑陽会

食品系企業

- ・株式会社セコマ
- ・株式会社シュクレイ
- ・日本食研ホールディングス株式会社
- ・株式会社ブルボン
- ・石屋製菓株式会社
- ・森永乳業北海道株式会社
- ・サッポロウエシマコービー株式会社
- ・北海道コンフェクトグループ
- ・東日本フード株式会社
- ・スターバックスコーヒージャパン株式会社

給食委託会社

- ・エムサービス株式会社
- ・株式会社LEOC
- ・株式会社グリーンハウス
- ・ジャルロイヤルケータリング株式会社
- ・日清医療食品株式会社 北海道支店

その他企業

- ・株式会社共立メンテナンス
- ・シミックヘルスケア・インスティテュート株式会社
- ・株式会社ツルハ
- ・株式会社サッポロドラッグストアー
- ・株式会社マッシュホールディングス
- ・株式会社第一岸本臨床検査センター
- ・株式会社ココカラファイングループ

調剤薬局

- ・株式会社水戸薬局
- ・株式会社サッポロドラッグストアー(薬局)

●進学先

大学院

- ・天使大学大学院 栄養管理学専攻 博士前期課程

【大学院】就職先

●助産研究科

大学病院

- ・北海道大学病院
- ・順天堂大学医学部附属浦安病院
- ・東京女子医科大学附属足立医療センター
- ・東京女子医科大学病院

公立・公的・社会保険関係法人の病院

- ・江別市立病院
- ・横浜市立大学附属 市民総合医療センター
- ・名寄市立総合病院

大学病院

- ・医療法人深仁会 手稲深仁会病院
- ・愛和病院
- ・医療法人徳洲会 札幌徳洲会病院
- ・森産科婦人科病院
- ・医療法人育愛会 札幌東豊病院
- ・医療法人王子総合病院
- ・札幌白石産科婦人科病院
- ・公益社団法人地域振興協会東京北医療センター

●看護栄養学研究科

大学病院

- ・北海道(保健師)
- ・札幌市(保健師)
- ・当別町(保健師)
- ・清水町(保健師)

教育機関

- ・学校法人日本医療大学(教員)
- ・日鋼記念看護学校(教員)
- ・酪農学園大学(教員)
- ・獨協医科大学(教員)

病院

- ・独立行政法人地域医療推進機構 札幌北辰病院(看護師)
- ・特定医療朋友会 石金病院(看護師)
- ・カレスサッポロ時計台記念病院(看護師)
- ・医療法人春林会 華岡青洲記念病院(管理栄養士)

一般企業

- ・アドバンテック株式会社(研究職)

2026年度 入学者選抜結果

看護学科

選抜種別	受験者数	合格者数
指定校推薦	8	8
公募制推薦	71	44
社会人	0	0
一 般	254	97
共通テスト利用	174	48

栄養学科

選抜種別	受験者数	合格者数
天使みらい	59	59
指定校推薦	1	1
公募制推薦	9	9
社会人	0	0
一 般	31	31
共通テスト利用	26	22

看護学専攻

選抜種別	受験者数	合格者数
推薦型	2	2
一般Ⅰ期	9	5
一般Ⅱ期	7	6

栄養管理学専攻

選抜種別	受験者数	合格者数
推薦型	0	0
一般	5	5

助産研究科助産基礎分野

選抜種別	受験者数	合格者数
推薦型	17	12
一般Ⅰ期	16	9
社会人Ⅰ期	5	1

あなたの声をお聞かせください

学報「天使」では、読者のみなさまの声を生かした誌面づくりを目指しています。ご意見、ご感想、取り上げてほしい話題等ございましたら、下記あて先までお寄せください。

あて先／〒065-0013 北海道札幌市東区北13条東3丁目1-30 天使大学広報委員会 tel.011-741-1051 fax.011-741-1077



天使大学

看護栄養学部／看護学科・栄養学科
大学院／看護栄養学研究科・助産研究科(専門職学位課程)
〒065-0013 北海道札幌市東区北13条東3丁目1-30
TEL.011-741-1051 FAX.011-741-1077

看護栄養学部／看護学科・栄養学科
大学院／看護栄養学研究科・助産研究科(専門職学位課程)

第41号 2026年9月 発行 天使大学広報委員会

<https://www.tenshi.ac.jp>

